

平成 22 年 1 2 月

= 発 行 =

秋田県生涯学習センター

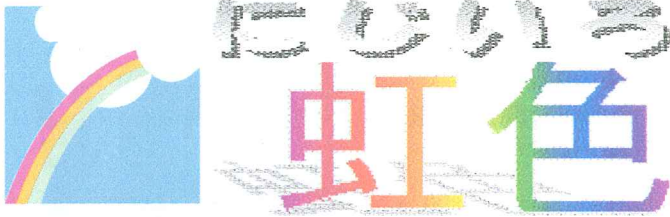
〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

TEL : 018-865-1171

FAX : 018-824-1799

E-mail : sgscen002@mail2.pref.akita.jp

編集担当：社会教育アドバイザー



本格的な冬が到来しました。吹きすさぶ吹雪の音を聞きながら、「冬来たりなば、春遠からじ」と自分の心に語りかけております。冬への心構えを確かにしてくれるのは、やはり、ハタハタのしょつつる鍋ときりたんぼ鍋です。秋田の伝統料理に誇りを感じます。

「全国体力テスト、本県3年連続トップ級」という新聞記事が目飛び込んできました。子どもたちの学力も体力もトップ級です。秋田の子どもたちを誇りに思います。



### 秋田県生涯学習センター30周年、 秋田県生涯学習奨励員協議会結成35周年記念式典



所長式辞



参事(兼)生涯学習課長祝辞



来賓の皆様

平成22年11月20日(土)、約240名の参加者を迎えて、フォーラム「再考 秋田の生涯学習40年」が開催されました。シンポジウム、講演に続いて、秋田県生涯学習センター30周年、秋田県生涯学習奨励員協議会結成35周年記念式典が開催されました。

生涯学習センター武藤所長の式辞、県教育庁参事(兼)生涯学習課長の佐々木義幸氏から祝辞をいただいた後、生涯学習センターの諸事業に長年協力のあった団体に感謝状が贈呈されました。

秋田県の生涯学習は、昭和46年、県政の重点施策の一つとして、県民がいつでも、どこでも、だれでも学び合い、ふれあいを通して、思いやりと生き甲斐に満ちた活力ある地域社会の形成を目指してスタートしました。

少子高齢化社会の先端を歩んでいる秋田県においては、ますます生涯学習の重要性が増していくものと考えられます。

#### < 感謝状が贈呈された団体の紹介 >



#### 生涯学習ボランティアグループ「ヤッホーの会」

会長 大石貴志子

平成9年の設立以来、生涯学習への理解と支援、さらに学んだことを社会に還元する意味で生涯学習ボランティアの推進を目標に活動を展開しています。

生涯学習ボランティアの研修会、アンケート調査、出前講座、青少年のためのボランティア講座、社会教育施設におけるボランティア活動の学習会、男女共同参画社会の学習会、地域の子どもの家庭関係の問題を考える学習会、子どもエコ学習、健康体操、庭木の手入れ勉強会など、多彩な自主企画講座を行っています。

野口英世記念館にて  
小春日や偉人生れたる  
角館にて浜田謹吾の銅像を仰ぐ  
鼓笛手の高き眼差し銀杏散る  
困炉裏端

武藤 四郎 作

## ボランティアコーディネーター 「のぞみ」

会長 海風 久美子

平成17年に結成されたボランティアコーディネーターの会。生涯学習ボランティアに関する相談や生涯学習センター事業のPR、館内の案内など、秋田県生涯学習センターの窓口業務のボランティアを長年行ってきています。

今年度は、きらめき講座①「藍染めにちようせん！！～すてきなオリジナルの作品を作りませんか～」(10月)などを開催しました。



## NPO 法人「コージーサークル」

代表 野手 準二

「情報弱者と言われるパソコンが苦手な人々の役に立とう」という趣旨で平成12年に結成しました。IT講習で基本操作を十分に体得できなかった方のために、体験指導や訪問指導を行っています。

秋田県生涯学習センターで開催されるIT講習では、講座補助のボランティア活動を行ったり、秋田市女性学習センターでは指導を行っています。

## 子育て情報 「思春期を乗り越えさせるための子どもとの向き合い方」

思春期は、「揺れ動く危うさの時代」です。押し寄せる様々な波に大きくさらされる子どもたちの心と身体の変化は、多様で大きなものです。大きな海原で小舟(子ども)と親船(大人)を取り囲む波が幾重にも渦を巻いています。「大人と子どもが混在する姿」に「頼りなさ」や「危うさ」が見られます。思春期は、子どもにとって「危機の時代」ですが、危機があるからこそ、「大人の時代」を迎えることができるとも考えられます。

思春期を無事に乗り越えることができるように、前思春期(0歳～11歳くらいまで)の子どもへの向き合い方が大切だと言われています。

### 前思春期(0歳～11歳くらいまで)の子どもへの向き合い方

- ・親としてしっかりした愛情を注ぎながら、集団の中で他の子どもと遊ぶ経験を十分にさせ、様々な体験を通して基本的な生活習慣を身に付けさせる
- ・子どもの「自分でやる」という欲求や自立的行動を励ましてやる
- ・子どもの活動力がくじけないようにさせながら自発性を伸ばしてやる
- ・自分で決めたことをやり遂げる意志をもたせる

これらは、生涯を生きぬくために必要な基本的な力です。この力を蓄えておくことが大切です。思春期の危機は、突然出てくるのではなく、すでに前思春期の段階で準備されています。

思春期の前に、豊かな遊びや体験活動をさせることが何より大切です。

### < 3～4歳ころに訪れる第一反抗期 >

子どもは、思いつきの自己主張をしてきます。この反抗に見える行動を通して、子どもは、小さな「自分」を確認しつつ、少しでも親から離れて飛び立とうと身震いしているのです。とても大切にしたい反抗期です。

### < 小学校中学年ころの子ども >

先生や子どもたちとの交流を通して「してもよいことと悪いこと」の本格的な社会的行動規範の学習に向き合うこととなります。親にとっての大切な心構えは、「まだ小学生」と思わないで、「将来の大人」である子どもと向き合い、親の目から見て「しても許されることと許されないこと」があることについてしっかりと話し合うことが大切です。この段階での向き合うことの濃さや甘さが、思春期の危機を乗り越えようとする力の強弱を決めることとなります。